

### 3 各部局等の BSD 活動

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学務課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	急速に進む教育DXをはじめとする諸課題等に関する多様な知識や取組事例を学ぶことで、教務系職員としての資質向上を図ることができた。ただ、昨年同様、コロナ禍のため、参加者同士の対面でのネットワーク構築が困難であったことが残念である。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 18回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和4年度第1回FD研修会	新任教員説明会<教育・学生編>	4月4日	2名	主催、全体57名
令和4年度第2回FD研修会	ピア・サポートを活用した学修者本位の教育の実現	8月8日	9名	主催、全体131名
令和4年度第3回FD研修会	金沢大学EMI科目(英語による科目)の現状と今後の展望	9月28日	5名	主催、全体87名
令和4年度第4回FD研修会	FD活動報告書成果発表会	10月28日	4名	主催、全体61名
教学マネジメントセミナー2022	教学マネジメントのあるべき姿を考えよう! ~ 自律的学修者を育てるために~	12月22日	4名	主催、全体24名
北陸地区国立大学連合協議会 学生教育系専門委員会	教育IR活用や大学院教育改革等を議題とした北陸地区国立大学4大学でのオンライン意見交換会に職員も出席した。	8月30日	4名	主催、全体10名
学生の自死防止のための研修会	ネットを介しゲートキーパーとなるために	12月23日	3名	
金沢大学数理・データサイエンス・AI教育 第1回シンポジウム	数理・データサイエンス・AIの知識が、いま社会で求められていることを知る	10月31日	4名	主催、全体131名 (学外者含む)
大学コンソーシアム石川 令和4年度FD・SD研修会(第1回)	地域貢献活動としての「やまの保健室活動」	9月14日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和4年度FD・SD研修会(第2回)	コロナ禍における金城美術のICTの活用事例の紹介	10月31日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和4年度FD・SD研修会(第3回)	大学におけるセキュリティの実態、自治・自律とガバナンスをどう両立させるか	11月18日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和4年度FD・SD研修会(第4回)	遠隔授業教材作成において留意すべき著作権の扱いについて	12月9日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和4年度FD・SD研修会(第5回)	護教育・研究へのDXの導入ー石川県立看護大学での取り組みー	12月22日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和4年度FD・SD研修会(第6回)	「男女共同参画」と「ルーブリック評価について」	1月18日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和4年度FD・SD研修会(第8回)	金沢大学 KUGS 特別入試の取り組み: 探究学習を題材とするレポートの評価を中心に	2月9日	1名	
中部大学第58回FD・SD講演会	なぜ今の若者はそこまで目立つことを恐れるのか? ~ キャンパス内で急増する「いい子症候群」の心理的特徴~	2月7日	1名	中部大学
数理・データサイエンス・AI教育SD研修会	数理・データサイエンス・AI教育の意義	3月10日	6名	主催、全体27名
学務部キャリア形成研修	大学の位置、事務の職責、キャリア観	2月21, 28日 3月8, 16日	3名	学務部長主催、 全体15名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	外部機関が主催する研修会に参加したほか、主催にて学務系職員対象に数理・データサイエンス・AI教育SD研修会を開催し、数理・データサイエンス・AI教育の意義や本学の文部科学省指定コンソーシアムの北信越ブロック代表校としての役割について理解を深めることができた。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学生支援課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	アドバイス教員等による日頃の指導や、関係部署、関係教職員の協力に加え、自死防止のための研修会を遠隔対応でも行ったことにより、懸念のある学生への対応方法等に関する教職員の理解がさらに深まり、学生支援体制の強化につながった。令和4年度は、自死防止に関する研修会を継続して開催する。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 2回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
学生の自死防止のための研修会	ネットを介しゲートキーパーとなるために	12月23日	10名	学生自死防止専門委員会主催、全学FD委員会、KUGSサポートネットワーク本部会議・学生生活委員会共催、全体約100名
学務部キャリア形成研修	大学の位置、事務の職責、キャリア観	2月21、28日 3月8、16日	5名	学務部長主催、全体15名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

・保健管理センターや障がい学生支援室、就職相談窓口の有機的な連携に事務職員も貢献し、対応状況を共有することでBSDにつながっている。

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	教職員のニーズを反映したテーマでの講師による研修会を行い、懸念のある学生をはじめとする学生への対応に係る教職員の理解がさらに深まり、学生支援体制の強化につながった。また、平素から複数窓口の連携が必要な問題のある学生に関し、事務職員も積極的に関与することがOJTに結びついている。	教職員のニーズを反映した講師・内容で、自死防止に関する研修会を継続して開催する。

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

#### ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学務課新学術創成研究科係

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	カリキュラムの検討・改善の他、研究科の実状に沿った内容の研修会を開催することにより、より教育指導体制の改善に資する内容となった。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

## ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
ナノ生命科学専攻FD研修会	外国人留学生の受け入れ対応について	3月6日	係長・係員全5名	理工3学類合同FD研修会主催

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

## ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

## ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	外国人留学生の対応について、日常的に心がける点などを学んだ	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部入試課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	コロナ禍のため外部機関が主催する研修会は実施されなかったが、入学者選抜試験の事務担当者向けに打合せ会をオンデマンド形式で開催し、令和4年度入学者選抜業務全般について理解を深めた。また、特別選抜に係る説明会及び主体性評価実施説明会を昨年度から内容及び実施方法を見直し実施した。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和5年度入学者選抜試験判定資料の確認作業要領等に関する説明会	主体性評価実施に関する説明をオンデマンドで実施	1月19日～31日	6名	主催, 全体99名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

コロナ禍になるまで対面で開催していた「令和5年度金沢大学入学者選抜試験事務担当者打合せ会」を、昨年度に引き続きオンデマンド形式で実施し、繁忙期においても入試担当者がいつでも繰り返し内容を確認することが可能となった。

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	コロナ禍のため外部機関が主催する研修会は実施されなかったが、入学者選抜試験の事務担当者向けに打合せ会をオンデマンド形式で開催し、令和5年度入学者選抜業務全般について理解を深めた。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

#### ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部基幹教育支援課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	「学生相談担当者研修会」は、「なんでも相談室」で学生からの相談を受ける教員や学生を対象に開催しているが、相談員となるメンバーが毎年変わるため継続した開催が必要と思われる。令和4年度も引き続き対象者に向けて実施する予定。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和4年度前期学生相談担当者研修会	なんでも相談室の基本方針、ハラスメント相談への対応、相談を受ける時の基本的な態度、共通教育のカリキュラムや履修登録の方法等の説明をオンデマンドで実施した。	オンデマンド	5名	主催(全体参加者数25名程度)

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	「学生相談担当者研修会」は、「なんでも相談室」で学生からの相談を受ける教員や学生を対象に開催しており、相談員となるメンバーが毎年変わるため、継続した開催が必要と思われる。	次年度も引き続き対象者に向けて実施する予定である。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

#### ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 融合系事務部学生課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	オンライン会議の普及により、BSD研修会やFD研修会に職員が参加しやすい環境が整ってきており、融合学域の教育方法について理解を深める等、職員の知識修得・資質向上を図った。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 16回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
第1回融合学域FD研修会	「現在の米国(シリコンバレー)の状況報告/教育Dx」	7月25日	3名	全体23名
第2回融合学域FD研修会	融合学域でのFDについてのディスカッション	9月22日	4名	全体19名
第3回融合学域FD研修会	融合学域でのFDについてのディスカッション	10月20日	2名	全体14名
第4回融合学域FD研修会	秋田先生からのサバティカル報告(中国・深圳)	11月24日	4名	全体14名
第5回融合学域FD研修会	VBLアントレプレナーコンテスト受賞報告	12月22日	3名	全体20名
第6回融合学域FD研修会	アカデミックスキル、プレゼン・ディベート論及び学術リテラシーの定義について	1月26日	6名	全体27名
第7回融合学域FD研修会	学生募集・広報等のための融合学域3学類の特長・強みについて	3月23日	4名	全体22名
先導学類懇談会	学生の留学プログラム等、先導学類学生の教学に関する意見交換	12月15日	5名	全体26名
令和4年度第1回観光デザイン学類ワークショップ	令和5年度開講科目の実施について	1月25日	5名	全体20名
令和4年度第2回観光デザイン学類ワークショップ	令和5年度開講科目の実施について	3月24日	5名	全体20名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介 非侵襲イメージング:体の中を撮し出す	7月14日	5名	全体32名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介 ある社会課題の解決に向けて	9月8日	5名	全体33名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介 バイオマス由来のものづくり ～透明な木～	10月13日	5名	全体28名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介 相互作用と場をデザインするー他者の見方・考え方・感じ方を起点に	11月10日	5名	全体33名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介 多様な生命データを扱った経験から	12月8日	5名	全体35名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介 社会の合理化と文理融合	2月9日	5名	全体34名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--



○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	融合学域FD研修会, 融合学域教員研究シーズ紹介等に参加し, 融合学域の教育方法及び教員の研究内容について理解を深める等, 職員の知識修得・資質向上を図った。	引き続き, 融合学域FD研修会, 融合学域教員研究シーズ紹介等に参加する。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 人間社会系事務部学生課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	教員免許取得という学生の進路選択の幅を広げる意味でキャリア形成にもつながる教職課程制度についての勉強会を行い、学生課内の多くの職員の参加があったことは評価できる。今後は、教職課程に限らないが、SD活動における教員と共同の在り方が改善点と考えている。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 2回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
教職課程履修指導の17のポイント	学生への教員免許履修指導について	9月29日	7名	第1回学域FD研修会、全体31名
未来デザインプラクティス	授業を通して学生たち自身が地域社会や金沢大学を変えるプロジェクト。学生グループに若手職員等がメンバーとして参加して共に企画を立案・実行する。	4月25日 ～ 12月15日	2名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

・学生課OJTシリーズ 「学則で学ぶ学生系業務」「大学設置基準の改正」をテーマに、メルマガ形式及び対面形式での課内ミニ研修を実施 6月16日～12月8日 参加者26名
---

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
4	昨年度の課内教職業務勉強会に引き続き、学域FD研修会に職員を参加させ、教員免許履修指導への理解を深めた。また、窓口業務により全員の対面研修が困難な状況下での全員参加の「メルマガ方式」による課内ミニ研修を実現した。毎回の内容も分かりやすくまとめられており、若手・ベテラン問わず学生系業務への理解を大いに深めることができた。	

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

### ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 理工系事務部学生課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	FDシンポジウムへの参加を通じて、コロナ禍でのオンライン授業や学生の状況の変化に関して、理解を深めることができた。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等（教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修）について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ（内容）及び参加人数を記入してください。（適宜、行を追加してください。）（総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。）

実施回数： 1回

名称	テーマ（内容）	開催日	参加人数（概数）	備考
理工学域・自然科学研究科 第14回FDシンポジウム	「授業形態と学習効果」の関係を考える	3月27日	2名	主催、全体70名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会（FD研修会を除く）の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

なし
----

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」 又は「ほとんど評価できない」の 場合は、必ず記載してください。
2	教員の向けの講演だったため、事務職員として知識を得る内容ではなかった。	来年度の活動予定において、時期の移動や回数増などの変更は予定していない。

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

### ※BSDの定義

「BSD（バックアップ・スタッフ・ディベロップメント）」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。（「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋）

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部学生課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	地区事務部や学生課主催でBSD活動を実施することは、講師、予算、課題の問題もあり難しいと考える。職員の研修としては、大学全体の研修、他大学合同の学生系研修、外部機関主催の研修に参加している。令和4年度も積極的に参加するよう促す。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 8回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
第1回医学系FD研修会	金沢大学医学類の医学教育	4月5日	1名	
医学系FD特別講演	授業をやめ、医療現場をけいけんすれば学生は自ら勉強する	7月27日	3名	
第5回医学系FD研修会	教職協働	9月12日	3名	
学生の自死防止のための講演会 (金沢大学学生自死防止専門委員会)	ネットを介しゲートキーパーとなるために	12月23日	3名	
学生課SD研修会	コミュニケーションの在り方	2月14日	9名	
学生課SD研修会	立ち位置(現状分析)と働く意義	2月21日	9名	
全学SD研修会	数理・データサイエンス・AI教育の意義	3月10日	4名	
第12回医学系FD研修会	医学教育モデル・コア・カリキュラム改定の概要	3月13日	1名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
4	職員の研修としては、大学全体の研修、他大学合同の学生系研修、外部機関主催の研修に参加している。地区事務部や学生課主催でBSD活動を実施することは、講師、予算、課題の問題もあり難しいが、今年度は学生課長による研修の機会を設けてくださり、多くの職員が研修に取り組めた。	

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

#### ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部薬学・がん研支援課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	「研修」という形式にまでは至らないものの、日常業務のOJTによる知識向上やスキルアップに努めている。また、専門部署や関係教員等にアドバイスを求め、その内容等の情報共有を課内で密に行っている。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
薬学4年制課程卒業者の薬剤師国家試験受験資格認定に関する勉強会	薬学4年制課程の卒業者が薬剤師国家試験受験資格を取得できる制度について、制度の概要や手続きに必要な知識の勉強会を行った。	9月26日	2名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	「研修」という形式にまでは至らないものの、日常業務のOJTによる教務システムや教員が利用するWebClassの使い方などの知識向上やスキルアップに努めている。また、専門部署や関係教員等にアドバイスを求め、その内容等の情報共有を課内で密に行っている。	

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

#### ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部保健学支援課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	教員向けの2回のFD研修会への参加を通じて、学生のメンタルサポートケアやハラスメント防止に関し、学内で実際に起きている事例を知り、理解を深めることができた。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 3回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和4年度第1回保健学系FD研修会	現在の大学生の特徴から見えてくること ～学習意欲向上に導く支援を目指して～	10月5日	5名	
令和4年度第2回保健学系FD研修会	こころの健康とゲートキーパーについて	11月2日	5名	
令和4年度第3回保健学系FD研修会	医学教育におけるハラスメント防止について	2月22日	5名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	現在の学生の特徴や、こころの健康のサポート、ハラスメント防止をテーマとした教員向けのFD研修会への参加を通じて、学生への支援のあり方について理解を深めることができた。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

### ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

## 令和4年度BSD活動報告(様式)

課名 国際部留学企画課

参考資料: 令和3年度に提出された自己評価及び令和4年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和3年度の自己評価	令和4年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和3年度BSD活動の自己評価及び総評	3	留学生支援を図るため、担当者説明会、研修会等に積極的に参加した。特に外務省や国大協サービスが主催する危機発生時の対応にかかる研修に職員を参加させ、学生の危機対応に係る能力向上を図った。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和4年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和4年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 5回

名称	テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
大学国際教育交流・派遣留学管理者向け危機管理オンラインセミナー	海外派遣におけるトラブル対応事例と事例に学ぶ実践ケーススタディ	6月30日	2名	全体200名
国立大学法人留学生センター留学生指導担当研究協議会	留学生受け入れ戦略の国際的動向と日本の状況の説明、情報交換	7月4日	7名	東京大学主催
学生の海外渡航危機管理シミュレーション	海外渡航中の事故発生を想定した対応シミュレーション	11月9日	5名	主催、全体73名
大学国際教育交流・派遣留学管理者向け危機管理オンラインセミナー	海外派遣留学の再開に備える大学の安全対策 対応事例に学ぶ危機管理	11月30日	6名	事例発表1名、全体200名
2022年度第2回国立大学法人留学生指導研究協議会	持続可能な留学生教育と支援の在り方の説明、情報交換	2月3日	2名	大阪大学主催

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

### ○照会事項3 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和4年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和4年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	海外渡航中の事故発生時において、発生し得る具体的なシナリオを用いた模擬訓練を行い、危機管理意識の向上と危機発生時の行動が部署を横断して確認できたことは効果が高かった。また、留学生受け入れでは担当者説明会、研修等に積極的に参加した。	

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

#### ※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

### 3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

(参考)

	名称	内容	参加人数 (概数)	備考
事務局	令和4年度金沢大学初任者研修	事務・技術系の初任職員に対して、本学の基本的事項について講義、見学体験等の多様なプログラムを提供し、「金沢大学職員」としての基礎的な能力を身につけさせることにより、今後の大学事務執行の円滑化を図る。	15名	金沢大学
	令和4年度北陸地区国立大学法人等初任者研修	新たに採用された事務系・技術系職員に対し、国立大学法人等事務に関する基礎的知識を修得させ、事務能力の増進を図ることを目的とする。	15名	金沢大学
	令和4年度人事評価研修(評価者研修)	人事評価制度を有効に活用することにより、本学職員の能力開発、意欲向上に寄与するため、対象者に本制度の意義や適切な目標設定等について理解させるとともに、評価者に共通の尺度や評価眼を養成し、公正・公平な評価を行うためのスキルとフィードバックのためのスキルを習得させることを目的とする。	53名(+オンライン参加副課長39名) 計92名	金沢大学
	情報システム統一研修「情報システム入門」	職員が最低限備えておくべき、情報技術に関する基礎的な事項を習得する。	1名	総務省
	情報システム統一研修「電子政府基礎」	電子政府実現に向けた取り組み等情報システムのプロジェクトに携わる職員に必要な基礎知識を習得する。	1名	総務省
	令和4年度トップマネジメント経験研修	事務系の初任職員に対して、大学の運営に係る重要事項が実際にどのように決定されていくのか、また、大学のトップが、日々どのように思考し、どのような活動を行っているのか、身近に経験させることにより、大学経営への関心を深め、将来大学経営に参画できる人材を育成する。	14名	金沢大学
	令和4年度北陸地区国立大学法人等マネジメント研修	国立大学法人を取り巻く環境が大きく変化する中、大学の事務組織には、変化に即応し、課題を解決する能力が求められる。そのためには、管理職が組織の力を最大限に活用することが必要であることから、それらを実現するための、マネジメント能力の向上を図ることを目的とする。	14名	金沢大学
	令和4年度公文書管理研修Ⅱ(第1回)	公文書等の管理に関する法律を始めとする関連法令の理解、公文書等の管理、保存及び利用に関する専門的な事項の習得することを目的として、本研修を開催する。	1名	独立行政法人国立公文書館
	石川県「文書作成力向上研修(基礎編)」	文書とは情報伝達のための重要な手段であることから、その作成についての基本原則やルールを学び、読み手にとって分かりやすく、かつ、適切な文書を作成する能力の向上を図る。	計15名	石川県自治研修センター



### 3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

名称	内容	参加人数 (概数)	備考
令和4年度金沢大学職員ビジネス英語研修	2014年度に採択された「スーパーグローバル大学創成支援事業」の一環として、本学における教育研究の国際化・グローバル化に対応するための事務職員等の英語力強化（英検2級（TOEIC600点）以上）を目指し、さらに、本学が海外展開していくために求められる国際対応力を備えた事務職員等の養成を図る。	英語研修 12名 直前対策講座 24名 e-learning 78名 TOEIC-IPテスト受験者 217名	金沢大学
石川県「ワンペーパー資料作成研修」	様々な情報を図解等を用いて整理し、ワンペーパーにまとめるスキルを習得する。	4名	石川県自治研修センター
石川県「コーチングスキル研修」	部下や後輩の育成にあたり、主体的に行動することができる職員を育成するためのコミュニケーション方法をはじめとしたコーチングのスキルについて習得する。	4名	石川県自治研修センター
石川県「説明力向上研修」	県民や上司などに対して、正確で分かりやすく説明するために必要なスキルやコツなどを実践的な演習を通して習得する。	8名	石川県自治研修センター
石川県「ネゴシエーションスキル(交渉力)向上研修」	窓口などの渉外業務を遂行する上で必要となる実践的な交渉力の向上を図る。	5名	石川県自治研修センター
自衛消防業務新規講習	消防法改正により、大規模建築物等で自衛消防組織の統括管理者及び本部隊の各班の班長として配置した自衛消防組織の設置が義務づけられ、業務に従事する方を対象に、防火・防災管理に係る対応要領などの知識・技術を習得する。	2名	日本消防設備安全センター
令和4年度東海・北陸地区国立大学法人等会計事務職員研修会	東海・北陸地区国立大学法人等の事務職員に対して、国立大学法人会計基準等に関する知識を習得させ、かつ、国立大学法人等職員として必要となる見識を研修することにより、各職員の資質の向上を図ることを目的とする。	6名	金沢大学
令和4年度図書館等職員著作権実務講習会	著作権法施行令（昭和45年政令第335号）第1条の3第1項に掲げる図書館その他の施設の職員に対し、図書館等の実務に必要な著作権に関する知識を修得させる。	1名	文科庁
石川県「ファシリテーションスキル向上研修」	会議などの集団活動を円滑に進める方法を学び、個々の力を最大限に引き出しながら、組織として効率よく質の高い成果をあげるために必要なスキルについて学ぶ。	4名	石川県自治研修センター
第60回政府関係法人会計事務職員研修	政府関係法人の会計事務に従事する職員に対し、予算決算及び会計事務に関する必要な知識を修得させることを目的とする。	1名	文部科学省
石川県「行政クレーム対応研修」	行政クレームへの対処方法を学ぶとともに、円滑な県民応対に資するコ	1名	石川県自治研修センター

### 3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

名称	内容	参加人数 (概数)	備考
	コミュニケーション能力の向上を図る。		
令和4年度国立大学法人等施設担当職員研修会(初任クラス)	国立大学法人等の施設担当職員として自己の能力を十分に発揮できるよう、国立大学法人等の現況や動向などの概論について理解させるとともに、国立大学法人等の施設整備に係る多様な業務について、初任職員として必要な基礎的知識を習得させる。また、グループごとに課題テーマに対して全員で討議を行い、メンバーの相互コミュニケーションを通じてテーマに対する理解を深め、今後、業務に生かすことのできる人的ネットワークの構築を図る。	1名	東京大学
石川県「アンガーマネジメント研修」	怒りの感情と上手く付き合い、ストレスの軽減や円滑なコミュニケーションを図る。	5名	石川県自治研修センター
令和4年度金沢大学キャリアデザイン実践セミナー	若手職員に自己成長やキャリア形成における主体性の必要性を認識してもらい、自身のキャリアプランを考える機会を提供することで、金沢大学の職員として働き続けることのモチベーションアップを図る。また、同世代の若手職員同士で日頃の悩みを共有し、ストレスとの付き合い方や、変化していく期待・役割の中で協働力を発揮し、組織貢献する方法を学ぶ機会とする。	21名	金沢大学
令和4年度北陸地区国立大学法人等中堅職員研修	北陸地区国立大学法人等の中堅職員に対し、役割認識と職務に必要な知識及び能力を付与することにより、職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。	10名	富山大学
第11回国立六大学事務職員研修会	本研修会は、千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学及び熊本大学の国立六大学の事務職員が、国立六大学連携コンソーシアムの趣旨を踏まえ、その具体的な連携・協力の推進や、大学間の垣根を越えた職員同士のネットワークの構築などを目的として実施するものである。	5名	長崎大学 (オンライン)
石川県「文書作成力向上研修(応用編)」	事例演習を通して、文書に説得力を持たせる構成方法を学ぶとともに多彩な表現方法に触れ、自らの文書表現力をさらに高める。	3名	石川県自治研修センター

### 3-1 照会事項1 BSD 研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数 (概数)	備考
	令和4年度北陸地区国立大学法人等リーダーシップ研修	北陸地区の国立大学法人，独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関（以下「国立大学法人等機関」という。）の管理職員に対し，立場と役割を認識し，能力及び識見を確立させ，職員としての資質向上を図ることを目的とする。	9名	福井大学
	セルフケア能力向上研修	心の調節力を高め，職務遂行上の適度なストレスと上手に付き合うための知恵を学び，生き生きと活動するためのセルフケア能力の向上を図る。	3名	石川県自治研修センター
	令和4年度北陸地区国立大学法人等新任係長・専門職員研修	北陸地区国立大学法人等の係長・専門職員としての心構え及び職務遂行に必要な基本的，一般的知識を修得させるとともに，係長・専門職員としての能力及び識見を確立させ，国立大学法人等の管理運営の重要な担い手としての資質向上を図ることを目的とする。	21名	北陸先端科学技術大学院大学
	石川県「データの見方・活かし方研修」	ビッグデータをはじめとする統計データ等を理解・分析する力を養い，その活用方法を習得する。	1名	石川県自治研修センター
	2022年度国立大学法人等若手職員勉強会	国立大学等の継続的な発展に貢献する若手職員の力量向上 ①所属機関全体や職員としての役割・課題を自覚し，当事者意識を持って考える②国立大学法人等とそれを取り巻く実状について主体的に学ぶ ③職員として必要な資質やマインドに気づき，自らが目指すべき職員像を意識する④他機関の職員とのコミュニケーションを通してネットワークを構築する⑤成果を所属機関へフィードバックし，各機関の発展に貢献する	2名	一般社団法人国立大学協会
	令和4年度東海・北陸地区国立大学法人等人事担当者（係長級以下）研修	この研修は，東海・北陸地区の国立大学法人，大学共同利用機関法人，独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関（以下「国立大学法人等機関」という。）の人事担当者（係長級以下）に対し，役割認識と職務に必要な知識及び能力を付与することにより，法人職員の資質の向上と職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。	4名	愛知教育大学
	令和4年度博物館・美術館等保存担当学芸員研修	後世に伝えるべき文化財，資料を良好な状態で保存するために不可欠な，展示・収蔵空間における，適切な温湿度環境，空気環境，照明環境の維持管理，および生物被害防止対	1名	国立文化財機構

### 3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数 (概数)	備考
		策等について、これらの自然科学的背景や手法、モニタリングについての基礎的な理解を高め、もって文化財保存の質的向上に寄与することを目的に行う。		
	令和4年度国立大学法人等施設担当職員研修会（中堅クラス）	国立大学法人等の施設担当職員のうち、中堅職員を対象として、施設整備を巡る現状と課題についてその知識を深めるとともに、人的ネットワークを構築・活用し、将来の大学経営を担う人材育成することを目的として、施設担当者職員研修を実施する。	1名	国立大学法人等施設担当部課長会 一般社団法人国立大学協会
	情報システム統一研修（令和4年度第4/四半期）「プロジェクト管理基礎【レベルB】」	情報システム開発におけるプロジェクト管理に必要な基礎知識を習得する。	1名	総務省